

～夢・未来・希望輝く「舞鶴っ子」育成プラン～ 子ども・子育て支援等各事業の平成27年度進捗状況

資料2

育てたい子ども像：自分自身を愛し、他の人を愛し生まれ育った地域を愛する「舞鶴っ子」

基本的な政策目標：子どもの笑顔と子育てとの喜びがあふれるまちづくり

基本的な政策方向：1. 子どもの豊かな成長 2. 親子で育つ喜びの子育て 3. 家庭と地域が一体となって進める子育て支援

[重点施策1] 子どもの豊かな育ちを支える環境づくり

[施策の方向性] (1)豊かなあそび(五感を使った体験)をととした学びの推進

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	幼稚園・保育所(園)における「豊かなあそび」の推進	幼児教育・保育の質向上推進事業費	一人ひとりの子どもの豊かな感性、表現力、創造力の芽生えを培う教育・保育を実施するため、五感を使った「豊かなあそび」を主体的に体験できる様々な環境(自然、人、物、事など)づくりに努めます。	5,283	乳幼児教育ビジョン策定 (懇話会4回、作業部会5回開催) 研修会・勉強会・協議開催 16回 (研修参加延べ人数 約720人、 公開保育9園・うち2園は保幼小連携) 他市への事業発表4回、視察対応2回 他事業研究1回 ※文部科学省調査研究委託事業	舞鶴市乳幼児教育ビジョンの内容を家庭や地域など広く市民にお知らせし、乳幼児期の「豊かなあそびをととした学び」に対する理解を深めるとともに、引き続き事業の推進に努めます。	幼稚園・保育所課
		保育委託事業費		1,235,150	13園(内1園分園)及び広域入所分 ↳10/1入所児童数1,301人		
		保育所管理運営経費		149,016	市立3園 10/1入所児童数311人		
		幼稚園一般管理経費		12,257	市立1園 5/1入所児童数43人		
2	地域子育て支援拠点・子育て交流施設等における「豊かなあそび」の推進	子育て支援基幹センター運営経費	乳幼児との望ましいかかわり方の普及・啓発に努めます。	3,818	子育て支援基幹センター：週6日型 利用者数：5,958人	乳幼児期に大切にしたい親子の基本的な関わり方について学ぶ機会を提供します。	子ども支援課
		地域子育て支援拠点運営経費		28,230	・よちよち広場(昭光保育園) 週5日型 8,677千円 利用者数：6,842人 ・さるなあと(ルンビニ保育園) 週5日型 8,677千円利用者数：5,534人 ・ほっと(八島商店街) 週4日型 6,038千円 利用者数：3,317人 ・ひまわり(西市民プラザ) 週4日型 4,838千円(施設借上料引く) 利用者数：4,694人		
		子育て交流施設管理運営経費		18,315	子育て交流施設 週6日型 利用者数：56,249人(H27,4/25～)		
		子育て交流広場管理経費		418	子育て交流施設：週6日型 利用者数：56,249人(H27,4/25～)		
3	誰にも優しい、ゆとりと うるおいのある公園整備	都市公園整備事業費	西運動広場を西市街地の都市公園として総合的な整備を行い、市民が気軽にスポーツにふれあう機会を創出します。 市民の憩いの場、レクリエーションや自然とのふれあいの場である都市公園において、安心・安全で利用しやすい公園であるよう、老朽化した公園施設の改築及び更新を行います。	81,442	・(仮称)西運動公園の整備 A=4.8ha ・引揚記念公園展望デッキ改築 N=1基 (L=9.1m、W=4.0m A=36.4㎡) ・竜宮公園遊具更新 N=6基	国の交付金の配分等財源の確保が課題	土木課

〔施策の方向性〕(2)幼児期の子どもを主体とした教育・乳幼児期の保育の充実

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	幼稚園・保育所(園)における教育、保育の充実	幼児教育・保育の質向上推進事業費	0歳児～5歳児の発達を見通した教育・保育を実施し、一人ひとりの子どもの発達や学びを捉えた、質の高い教育・保育の提供を行います。	5,283	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載済	保育士の不足が課題となっており、質の向上に向けて必要な人員の確保にかかる費用の一部を支援します。	幼稚園・保育所課
		私立保育園運営費等補助金(内、私立保育園保育士研修費補助金)		100	1回開催		
		保育委託事業費		1,235,150	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載済		
		保育所管理運営経費		149,016	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載済		
		幼稚園一般管理経費		12,257	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載済		
2	幼児教育・保育の質的向上	幼児教育・保育の質向上推進事業費	保育所(園)では、民間と公立が連携し、保育の質の向上を目的とした研修事業を実施し、公開保育、研修会において、専門家による指導助言を受けています。さらに、幼稚園にも拡充し、幼稚園教諭・保育士のスキルアップを図ります。	5,283	※重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載済	文部科学省の調査研究委託を受け、本市の乳幼児教育の推進体制構築に向け、乳幼児教育センター機能やコーディネーター機能の研究を行います。	幼稚園・保育所課
3	幼保小連携の推進		就学前児童の発達や学びを小学校での学習や生活につなげる、連続性を踏まえた幼保小連携事業を推進します。また、職員相互の連携の充実や研修事業を実施し、0歳～12歳の切れ目ない接続を目指した連携に努めます。			連携による研修事業等の実施を引き続き行うとともに、保幼小接続カリキュラムの策定についても、保育者及び教員による研究を行います。	幼稚園・保育所課
4	特別支援教育・障害児保育の充実	私立幼稚園すくすく育成補助金 保育所発達支援事業費補助金	支援が必要と考えられる子どもの生活や遊びの状況を把握し、適切な保育環境の整備や支援を行うなど、子どもに応じた保育を提供し、健全な発達を支援します。	52,328	私立幼稚園すくすく育成補助金対象箇所数:7箇所 保育所発達支援事業費補助金対象箇所数:10箇所	引き続き支援の必要な園児の成長・発達を支援するとともに、安全を確保しながら集団生活が送れるよう発達支援員の配置に要する費用について支援します。	幼稚園・保育所課
5	私立幼稚園保育料の軽減	私立幼稚園就園奨励費補助金	幼稚園での教育を希望する保護者の保育料の負担軽減を図ります。	167,313	対象者数:1,274人	今後も国の制度を踏まえ、幼稚園における保育料の負担軽減を図ります。	幼稚園・保育所課
6	私立幼稚園教育の振興支援	私立幼稚園教育振興費補助金(内、私立幼稚園教育振興費補助金)	私立幼稚園における教育の充実を図るため、質の向上を図る取り組みを支援します。	520	研修を10回開催	私立幼稚園における教育の充実を図るため、引き続き質の向上を図る取り組みを支援します。	幼稚園・保育所課
		私立幼稚園教育機器整備費補助金		100	1園		
		教育研究助成費補助金		105	特別支援に係る各研修		

[施策の方向性] (3)生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	学力の充実と向上	夢チャレンジサポート事業費	子どもたちの夢を育み、その夢の実現を支え、将来、社会に貢献できる人材を育成するために、夢講演会の開催や学力向上に向けた取り組みを行います。	20,884	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で各学年統一の学力診断テストを実施。</li> <li>・英語検定にチャレンジする生徒に検定料を支援。</li> <li>・将来の夢を考えるきっかけとするため、外部講師による講演会を実施。</li> <li>・各中学校における学力向上や教職員の資質向上等の取組、各学校の特色ある教育活動を支援。</li> <li>・学習サポーターを配置し、学力診断テスト等の結果を活かした個に応じた効果的な学習指導を実施。</li> </ul>	今後とも、夢に向かって切磋琢磨できる教育環境を提供し、児童生徒の学習意欲や学力の向上を図ります。	学校教育課
2	豊かな心の育成	特色ある教育活動支援事業費補助金	地域人材等の活用した特色ある教育活動を支援するとともに、地域と学校の連携・協力による職場体験や世代間交流、農業体験、伝統的文化活動など、多様な教育活動を推進し、豊かな心の育成を図ります。	7,281	総合的な学習の時間、選択教科、体験活動、野外活動、クラブ活動、部活動等において地域人材等を活用した特色ある教育活動を支援するため、講師への謝礼等に対して助成。 引揚記念館等での「ふるさと学習」や、地域での職場体験活動等における活動費を補助。	今後とも、地域と学校の連携・協力による職場体験や世代間交流、農業体験など、多様な教育活動を推進し、豊かな心と健やかな身体の育成を図ります。	学校教育課
3	健やかな身体の育成		健康的な生活習慣や食習慣の確立による健やかな心身の育成を図ります。				
4	小中一貫教育の推進	小中一貫教育推進事業	学力の向上と学校生活への適応に向け、小学校と中学校の円滑な接続と義務教育9年間を見通した教育を目指し、小中一貫教育を進めます。	673	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育モデル校区の指定(2校区)</li> <li>・小中一貫教育標準カリキュラム(国語、社会等)の作成</li> <li>・小中一貫教育リーフレットの作成 他</li> </ul>	モデル校区の取組の成果や課題を整理し、平成30年度までの全市導入を目指します。	教育企画課
5	いじめ防止基本方針に基づくいじめ対策の推進	いじめ・不登校対策経費	舞鶴市いじめ防止基本方針に基づき、いじめを絶対に許さない決意のもと、社会全体で子どもを守るとともに、各学校においては、いじめの防止、早期発見、早期対応のため、組織的な取り組みを行います。 また、いじめ相談室が学校の支援・指導を行います。	18,206	6月・12月に「いじめアンケート調査」の実施による実態把握及び必要な指導や支援を実施。 いじめの早期発見・早期対応のため、いじめ相談ダイヤルカードの配布。 ※資料2-1あり	いじめの防止、早期発見、早期対応のため、いじめアンケート調査の実施による実態把握など、継続した取り組みを推進していきます。	学校教育課
6	学校における不登校対策の推進		不登校の未然防止に向け、学校での心の居場所や、絆づくりに努めるとともに、各学校に不登校対策担当の教員を明確に位置付け、不登校の児童・生徒にきめ細かく柔軟な対応を組織的に取り組みます。		担任等による家庭訪問の実施やその対策等、各学校において組織的な対応を実施。 ※資料2-2あり	不登校の未然防止と解消に向け、引き続き、組織的な取り組みを進めます。	学校教育課
7	教育センター「明日葉」の運営		教育支援センター「明日葉」を中心に不登校解消のための取り組みを進めるとともに、カウンセラー(臨床心理士)を配置し、困難事例に対応します。		子ども相談員3名、臨床心理士1名による相談業務を実施。学校訪問、家庭訪問を通じ、学校での不登校対策をサポート。チャレンジアウトドアライフ事業として野外体験活動を実施。 「明日葉通信」を家庭・職員向けに配付。 いじめ相談件数は、電話相談104件、来所相談25件。	教育支援センター「明日葉」において、集団生活への適応・情緒の安定・学力補充・基本的生活習慣の改善等の適応指導を行い、不登校児童生徒の学校生活への復帰、社会的自立を支援するなど、引き続き、不登校児童生徒の解消のための取り組みを進めます。	学校教育課

[施策の方向性] (3)生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
8	学校保健の充実	児童・生徒健康管理経費	児童生徒の健康診断、環境衛生、応急処置などの健康管理と保健指導や保健学習などの健康教育活動を通して健康に生活していく能力の育成に努めます。	48,757	<ul style="list-style-type: none"> <li>市立幼稚園、小・中学校における身体・歯科検診、検尿・ぎょう虫検査などを実施。</li> <li>市立幼稚園、小学校でのフッ素洗口を実施。</li> <li>小学校新入学児童に対する健康診断を実施。</li> </ul>	引き続き、児童生徒の健康管理や健康教育活動を通して、健康に生活していく能力の育成に努めていきます。	学校教育課
9	より豊かな学校給食の充実	学校給食運営経費 (小学校・中学校)	児童・生徒の健全育成のため、食育を推進するとともに、安心安全で魅力のある学校給食を進めます。	416,281	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校で給食を実施。 小学校児童数4,652人、中学校生徒数2,461人(27.5.1現在)</li> <li>毎月食育だよりの発行により、食育について推進。</li> <li>給食食材については、地元産のお米をはじめ、さかなや、わかめ、野菜など、地産地消に努めた。</li> </ul>	引き続き、安心・安全で栄養バランスのとれた魅力ある給食を提供するとともに、児童生徒の健全育成のため、食育を推進します。	学校教育課
10	信頼される学校づくり	—	オープンスクールや学校評価制度を充実するとともに、中学校区ごとに共通した目標をかかげ、その実現につとめる。	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>10/24~11/3をオープンスクールウィークとして、各小・中学校において保護者や地域の方々为学校へ来ていただけるよう授業参観や行事等を実施。</li> <li>各小・中学校における学校アドバイザーを委嘱し、地域とともにある学校づくりを推進。</li> <li>小中一貫教育の実施校である城北中学校区及び加佐中学校区において、小中学校の共通の目標を設定。</li> </ul>	オープンスクールウィーク等を活用し、学校の教育活動や運営状況を家庭・地域に積極的に情報発信していきます。	学校教育課
11	学校と家庭・地域の連携強化	—	地域社会全体で子どもと学校を支える仕組みづくりとして、コミュニティ・スクール等の取り組みを推進します。	—	城北中学校区においては、学校支援地域本部の設置を進めた。	学校・家庭・地域の連携による小中一貫教育の推進とあわせて、各中学校区において学校支援地域本部やコミュニティスクールの設置を進めます。	教育企画課
12	学校施設の整備	施設整備事業費(小学校費・中学校費)	経年により生じている施設の劣化・損傷部分を改修する工事や現在施設の機能を強化・改善する工事を行い、教育上の適切な環境整備を図ります。	77,549	屋上防水改修(3校)・バス待合所改築・遊具改修・グラウンド階段手摺設置他、工事32件、小規模修繕387件実施。	施設の老朽化に伴い、修繕費用の増加が見込まれる。	教育総務課
		施設整備事業費(幼稚園費)		2,020	舞鶴幼稚園職員室他冷暖房設備更新工事・庇修繕工事、小規模修繕7件実施		
		校舎等改修事業費(小学校費・中学校費)		4,918	非構造部材の耐震化工事の設計業務委託(3校)を実施。		

**〔重点施策2〕 家庭における子育て力を高める取り組みの推進**

**〔施策の方向性〕 (1)子育てに関する学びの充実**

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	地域子育て支援拠点事業	子育て支援基幹センター運営経費	親同士が交流する場を提供するとともに、子育てについて気軽に相談したり学べるよう、子育て講座の開催や子育て支援者研修会を開催します。	3,818	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載	子育てに不安感を持ちながらも一人で悩んだり、交流の場に参加しない・できない保護者も多くあることから、様々な関係機関や地域が、連携を更に密にして、地域の中で子育てに不安を持っている世帯を把握し、保護者が子育てについて学ぶ機会の創出に努めます。	子ども支援課
		地域子育て支援拠点運営経費	子育てについて学べるよう、子育て講座の開催やわかりやすい子育て関連情報を提供します。	28,230	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載		
		子育て交流施設管理運営経費	子育て中の親子が気軽に集い、あそびをとおして交流する場を提供するとともに、家庭での「豊かなあそび」のプログラムや子育て関連情報を提供します。	18,315	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載		
2	子育て講習会開催事業	子育て支援基幹センター運営経費	保護者を対象に、子どもとの良好な関係づくりや子育てのストレス軽減につながるよう、子どもの発達を促すためのスキル等を学べる講習会を開催します。	3,818	ひよこひろば 6回 親子83組 あかちゃんひろば 11回 親子281組 まなびのひろば 1回 親37人	より多くの方が、子育てについて学べるよう、利用しやすい内容や、情報提供に努めます。	子ども支援課
3	子育て支援関係者研修事業	子育て支援基幹センター運営経費	子育て支援関係者に現代の子育てに対する理解を深め、より良い支援者になるための資質向上と人材育成を行います。	3,818	子育て支援研修会 2回 91人	より多くの方が学べるよう、研修しやすい内容や、情報提供に努めると共に、ネットワークの構築に努めます。	子ども支援課
4	高校生と乳幼児親子とのふれあい交流事業	子育て支援基幹センター運営経費	これから親になる高校生が、乳幼児や子育て中の親との触れあいを通じて、子どもに対する愛着や生命の尊さを感じ、将来結婚し、子どもを産み育てたいと思える機会を創出するとともに、子育て支援の現状等について学ぶ機会づくりを行います。	3,818	東舞鶴高校1年生 家庭科授業への参加 学生183人 親子58組	高校生が、将来子どもを産み育てたいと思えるような乳幼児と触れあう機会や学びの創出に努めると共に、その後も関わっていただけるような取り組みを進めます。	子ども支援課
5	「家庭の日」の啓発	舞鶴子ども育成支援協会補助金	子どもの健やかな成長にとって家庭の果たす役割は重要であることから、毎月第4日曜日を「家庭の日」として提唱し、家庭を振り返り、家族の絆を深める普及活動を行います。	138	平成27年11月3日(東地区・ラボール) 平成27年11月22日(西地区・えびす市・パザール) 本協会員がタスキ掛けでのぼりを持って、家庭の日を促進するチラシやティッシュを市民に配布した。	各地域で各関係団体が行う行事等における更なる普及活動に取り組めます。	子ども支援課

[施策の方向性] (2)子育てに関する情報提供・相談体制の充実

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	子ども総合相談センター	子ども総合相談センター運営経費	5人の相談員を配置し、0歳から18歳までの子どもに関する様々な相談に対応しています。また、児童虐待や要保護ケースに対応するための地域ネットワーク組織である舞鶴市要保護児童対策地域協議会の調整機関の役割も担っています。	12,771	○相談受付件数 363件 ○相談対象者の内訳 ・就学前 114件 (31.4%) ・小学生150件 (41.3%) ・中学生55件 (15.2%) ・高校生31件 (8.5%) ・その他13件 (3.6%) ○363件の内、児童虐待に関する相談は217件で、全体の60% ※資料2-3あり	相談に対する適切な対応と支援が迅速に行えるよう、相談員の専門性向上に努めるとともに、関係機関との情報共有と連携の更なる強化に努めます。	子ども支援課
2	地域子育て支援拠点事業	子育て支援基幹センター運営経費	子育てについての相談やより個別ニーズに合わせた地域の子育て支援情報の提供を行うとともに、子育て支援関係団体が、さらに連携強化できるよう交流の機会づくりに努めます。	3,818	日常相談 250件 気になる相談 64件	当時者目線の寄り添い型支援を心掛け、必要な子育て支援施策につなぐことができるようにする。又、市民にわかりやすく、利用しやすい情報提供に努めます。	子ども支援課
		地域子育て支援拠点運営経費		28,230	気になる相談 基幹センター 64件 (再掲) さるなあと 58件 よちよち広場 22件 ひまわり 100件 ほっと 34件 あそびあむ (子育て交流施設) 47件 6拠点合計: 325件		
		子育て交流施設管理運営経費		18,315	気になる相談 47件 (再掲)		
3	子育て応援情報サイト「そよかぜネット・まいたん」	子育て支援基幹センター運営経費	各種子育て支援サービスや制度のお知らせ、子育て中の親子を対象としたイベント情報、子育て応援団体の紹介など、子育て支援に関するあらゆる情報を整理しタイムリーに発信します。	3,818	平成27年度アクセス数: 77,978 ユーザー数: 19,840  平成23年度～ 総アクセス数: 228,025 ユーザー数: 55,441	子育て支援サービス情報を、市民にわかりやすく、よりタイムリーな情報提供に努めます。	子ども支援課

[施策の方向性] (3)子育て世帯の交流の場の充実

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	地域子育て支援拠点事業	子育て支援基幹センター運営経費	乳幼児とその保護者の総合的な支援を図るため、親同士が気軽に交流できる場や子育てサークルの育成等に努めます。	3,818	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載	交流の場を知らなかったり、また、子育てに不安感や孤独感を感じながらも交流の場に参加しない保護者もあり、孤立してしまいがちな家庭が潜在する。そのような親子も参加しやすい内容の検討や、わかりやすい情報提供に努めます。	子ども支援課
		地域子育て支援拠点運営経費	乳幼児とその保護者が、地域の多様な世代と交流ができるよう、地域団体と連携して、地域での子育て支援活動に積極的に取り組みます。	28,230	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載		
		子育て交流施設管理運営経費	子育て中の親子同士をはじめ、多世代のいろいろな人が気軽に集い、遊びをとおして交流できる施設として、利用しやすい施設運営に努めます。	18,315	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載		



**[重点施策3] 安心して産み育てられる環境づくりの推進**

**[施策の方向性] (1)妊娠期・出産前後の支援の充実**

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	不妊・不育治療給付	不妊・不育治療給付費	不妊・不育治療を受ける夫婦が負担する医療費の助成を行うことにより、子を希望する夫婦への支援を図ります。	3,222	保険診療：166件 2,470,140円 人工授精：41件 560,527円 不育症治療：11件 190,663円 助成実人数：135人	事業の成果について検証を行い、より効率的な助成を検討します。	保険医療課
2	妊婦健康診査	妊婦健康診査事業費	妊婦の健康管理と健診費用負担の軽減のため、妊婦健康診査受診票を交付します。	54,974	基本検査（問診・診察、体重測定、血圧測定、尿検査、保健指導） 7,213回 追加検査（血液検査、超音波検査、免疫検査、HIV抗体検査、子宮頸がん検査等） 8,374回	妊婦の健康管理の向上を図るため継続して実施します。	健康づくり課
3	妊婦相談	—	母子健康手帳の交付時や電話、訪問等により随時相談に応じます。	—	母子健康手帳交付時の相談および電話相談件数： 82件	妊娠期から出産後まで切れ目のない支援を行うため、平成28年度は助産師相談日を設定し、来所や電話、訪問による相談を実施します。	健康づくり課
4	母子栄養強化事業	母子栄養強化事業費	低所得階層の妊産婦及び乳児（該当要件あり）に対して、牛乳・粉ミルクを給付するとともに、経済的にリスクのある妊産婦の支援につなぎます。	172	<事業該当者> H27 13名 H26 17名	母子の心身の健全な育成を図るため継続して実施します。	健康づくり課
5	産褥入院	妊婦健康診査事業費	出産に係る退院後、さらに保健指導を必要とする母子に対し医療機関等への入院費用の一部を助成します。	27	<事業該当者> H27 2名 H26 2名	産後の母子の健康確保と育児支援を図るため継続して実施します。	健康づくり課
6	妊産婦歯科健康診査	妊産婦歯科健康診査事業費	歯周病にかかりやすい妊産婦の口腔の健康を保持増進し、早産や低体重児出産、むし歯菌の母子感染等の予防を目的に歯科健康診査を1回実施します。	848	市内の歯科医療機関で実施。 <受診者>239名（受診率31.8%）	受診率アップ（40%目標）とともに、定期歯科健診率の増加や、効果的なブラッシング習慣の定着を働きかけます。	健康づくり課
7	育児準備教室	母子健康相談指導事業費	初産婦と夫に対して妊娠中から育児に対する意識を高め父親の育児への協力体制をつくることを目的に沐浴実習や妊婦体験等を実施します。	118	月1回日曜日実施で夫婦での参加が9割強。 <内容> 沐浴実習、妊婦体験、栄養・制度の話 <参加人数> 359名（185組）	妊娠期からの支援体制を充実し、「もうすぐパパママ教室」に加えて、平成28年度から「妊婦教室」を実施することで妊婦の仲間づくりや不安軽減に努めます。	健康づくり課
8	妊産婦・新生児・未熟児訪問指導	妊産婦・新生児訪問指導事業費	助産師・保健師が訪問を行い、妊婦・産婦・新生児・未熟児への育児に関する助言や保健指導を実施し、必要に応じて関係機関と連携し継続的な支援を実施します。	2,792	助産師・保健師が訪問指導を実施。 <件数>産婦 延554件 未熟児 延64件 新生児 延127件 乳児 延363件	児の状況だけでなく、産婦の精神面の援助等訪問を必要とする件数が増えており、平成28年度は、全出生児に電話して相談に応じるとともに新生児訪問等につなげます。	健康づくり課
		未熟児養育医療費	身体の発育が未熟のまま出生した乳児に対し、正常児が出生時に有する諸機能を得るために必要な入院療育の給付を行い、乳児の発育・発達と保護者が安心して育児ができるための支援を図ります。	5,508	給付実人数：20人 給付延件数：65件 給付額：5,504,730円 審査支払手数料：3,150円 保護者負担額：13,000円（歳入）	事業を安定的に継続実施していきます。	保険医療課
9	こんにちは赤ちゃん事業	こんにちは赤ちゃん事業費	生後4か月までの乳児のいる家庭を全て訪問し、子育ての不安や悩みを聞き、必要な情報提供や養育環境等の把握を行い、今後も支援が必要な家庭に対しては、関係機関との連携をとり適切な支援につなげます。	1,377	訪問件数：634件 訪問率：約92% (平成28年5月現在)	産後の育児不安や子育ての孤立化を防ぎ、誰もが、地域に見守られている安心感が持てるような、よりよい訪問に努めます。	子ども支援課





[施策の方向性] (2)母子の心身の健康の保持・増進

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	乳幼児健康診査	乳幼児健康診査事業費	3か月・10か月・1歳6か月・3歳児健診を実施し、子どもの心身の発育や育児状況、歯科疾患の有無、親の健康状況、予防接種の接種状況などを把握し、安心できる子育てを支援します。	9,614	<受診者数・受診率> 3か月児 : 728名 (96.0%) 10か月児 : 679名 (95.4%) 1歳6か月児 : 718名 (96.5%) 3歳児 : 713名 (96.1%)	引き続き健診未受診者の全数把握に努めるとともに、健診の効果的なあり方を検討し、健診後のフォロー体制の充実に取り組みます。	健康づくり課
2	予防接種	予防接種事業費	ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合・BCG・麻しん・風しん・水痘・日本脳炎等の予防接種を実施するとともに勧奨を促進します。	227,895	<接種者数> 延15,670名 乳幼児: ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、BCG、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎 学童: 三種混合・日本脳炎・子宮頸がん	今後も予防接種の動向に注意しながら、定期接種の接種率の向上と、安全で効果的な接種が行えるよう医療機関との連携や保護者への啓発に努めます。	健康づくり課
3	歯っぴースマイル教室	子どものむし歯予防事業費	むし歯予防を目的として2歳と2歳6か月児に対し、歯科健診・フッ素塗布やブラッシング指導を実施します。	1,273	<2歳児> 受診者数347名 フッ素塗布342名 <2歳6か月児> 受診者数257名 フッ素塗布254名	フッ素の効果をしっかり理解してもらい、自ら予防に努めることができるよう支援する。習慣化や継続ができるよう関心を高めます。	健康づくり課
4	幼児むし歯予防教室	子どものむし歯予防事業費	正しいブラッシングや予防習慣を身につけるため、市内の幼稚園や保育園等においてブラッシング指導や希望園においてフッ化物洗口を実施します。	249	<保育園・幼稚園> ブラッシング指導9園 537名 フッ化物洗口 8園 399名 <サークル等団体分> ブラッシング指導 2回 42名	各園からの指導への要望も強く、今後も事業を継続していくが、フッ化物洗口も併せ、園と連携を保ちながら毎日の習慣として取り組めるよう支援します。	健康づくり課
5	離乳食・幼児食教室	母子健康相談指導事業費	発達段階に応じた離乳食が順調に進むよう、また、栄養・食の大切さを学ぶことを目的に実施します。	127	○離乳食教室 年12回 163組(保護者163名、乳児164名) ○幼児食教室 年2回 20組(保護者20名、幼児20名)	今後も実演・体験を通し楽しみながら家庭での食事づくりができるよう指導を行うとともに、参加率が上昇するよう健診等での啓発に努めます。	健康づくり課
6	健やか育児相談・電話相談	母子健康相談指導事業費	就学までの乳幼児を対象に、保健師・栄養士・歯科衛生士による育児相談を実施します。	60	(健やか育児相談) 月1回来所にて実施 相談件数: 延395件 月平均33件 (育児電話相談) 相談件数: 24件	健やか育児相談は乳児の体重増加や離乳食等、成長や健康に関する相談が多く、育児不安や悩みを解消し健やかな成長と子育て支援に努めます。	健康づくり課
7	乳幼児の訪問指導	-	健診の未受診や、経過観察が必要な乳幼児を対象に訪問による保健指導を実施します。必要により医療機関や保育所等の関係機関とともに継続的な支援を実施します。	-	<訪問指導件数> 乳児 46件(延 95件) 幼児 316件(延532件)	今後も支援が必要な児とその保護者に対して適切な時期に訪問し、関係機関と連携をとりながら継続して支援します。	健康づくり課
8	妊産婦歯科健康診査	妊産婦歯科健康診査事業費	早産や低体重児出産、むし歯菌の母子感染等予防を目的に妊娠中から出産後1年間までの期間に1回実施します。	848	市内の歯科医療機関で実施。 <受診者> 239名(受診率31.8%)	受診率アップ(40%目標)とともに、定期歯科健診率の増加や、効果的なブラッシング習慣の定着を促進します。	健康づくり課
9	心の健康相談	健康づくり推進事業費	子育ての悩みや、うつ・育児不安等について、臨床心理士が個別相談に対応し、必要な支援につなげます。	240	<実施回数> 6回 <利用者数> 9名(延11名)	相談内容は多岐にわたり、必要に応じて専門的な相談機関につなげる等重要な事業ではあるが、利用者数の減少が続いており周知を工夫する必要があります。	健康づくり課

[施策の方向性] (3)健康に育つための取り組みの推進

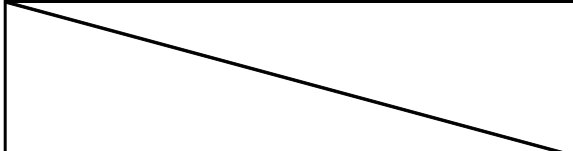
NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	子育て支援医療費助成	子育て支援医療助成費	中学生までの子どもの医療費助成を行うことにより、子育て世代の経済的負担軽減し、子どもの健康の保持・増進を図ります。	233,718	平均受給者数：10,722人 医療給付費：114,606件 225,516,956円 審査支払手数料：111,531件 7,402,668円 事務費：798,108円	事業を安定的に継続実施していきます。	保険医療課
2	子どもの救急電話相談の普及啓発	舞鶴地域医療連携機構事業費等補助金：啓発等事業費	通常の診療時間内での受診の啓発を図るとともに、夜間・休日に子どもの急な体調不良への対処方法や医療機関への受診の判断などに役立てていただくための電話相談（#8000）の普及啓発に努めるなど、小児科医師などの負担を軽減するための啓発に努めます。	465	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの急病対処法冊子内容更新、改訂（6,000部）</li> <li>・幼稚園、保育所の全保護者への配布</li> <li>・乳幼児健診時に配布</li> <li>・お医者さんマップへの掲載</li> <li>・ホームページへの急病対処法掲載</li> </ul>	急病対処法冊子については、小児科医の監修のもと毎年改訂版を作成し、引き続き通常の診療時間内での受診の啓発を図るとともに、電話相談の普及啓発に努めます。	地域医療課
3	お医者さんマップの作成	舞鶴地域医療連携機構事業費等補助金：啓発等事業費	必要な時にまずは身近な医療機関に受診できるように医療機関の診療科目や診療時間、場所などの情報をマップで紹介します。	152	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お医者さんマップの内容更新、改訂（6,000部）</li> <li>・医療機関や市内公共施設等に配布</li> <li>・ホームページへのマップ掲載</li> </ul>	診療科や診療時間など掲載内容について、毎年各医療機関に照会・更新のうえ改訂版を発行します。	地域医療課
4	「かかりつけ医」を持つことの普及・啓発	舞鶴地域医療連携機構事業費等補助金：啓発等事業費	日ごろの健康管理や急な体調不良の際の診療など、安心して生活するために「かかりつけ医」を持つことの大切さなどについて普及啓発を進めます。	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医啓発チラシ（500部）</li> <li>・医療機関等への配布</li> <li>・ホームページ、広報誌での周知</li> </ul>	ポスター、チラシの内容を改訂し、自治会回覧や医療機関等に配布し市民啓発に努めます。	地域医療課

[重点施策4] 配慮が必要な子どもと家庭への支援の充実

[施策の方向性] (1)成長や発達に支援が必要な子どもの施策の推進

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	のびのび教室・すくすく教室・にこにこルーム	発達障害児支援事業費	言葉の発達や行動面に課題のある子どもが、小集団の中で様々な遊びの楽しさを経験するとともに、保護者が、親子で遊ぶ機会を通じてかわり方や遊ばせ方を学べる教室を開催し、就園につなげる取組みの充実に努めます。	216	○のびのび教室 概ね1歳6か月～2歳6か月児、年21回 5回シリーズ 実61名(延154名) ○すくすく教室 2歳6か月～就園まで、年11回 5回シリーズ 実27名(延88名)	健診後のフォローや早期支援の場として定着していますが、教室終了後は就園する児も多く、関係機関との連携に努めます。	健康づくり課
2	「にじいろ」個別支援システム	発達障害児支援事業費	年齢に応じた成長と発達の視点から支援が必要な乳幼児の早期発見、早期支援のため、専門スタッフで構成する個別支援検討会議委員が幼稚園保育所を巡回し、発達支援やクラス運営に関して助言を行います。また、発達支援員配置についての意見を行います。	2,172	申請人数、助言人数：204名 巡回日数：61日 個別支援検討会議：11日	小学校への巡回訪問を試行実施するなど、就学先への移行支援に努めます。	子ども支援課
3	発達支援ファイルの普及啓発	発達障害児支援事業費	関係機関や保護者などが子どもの成長に関する情報を記録した発達支援ファイルを保護者に渡すことにより、子どもの成長や発達の記録を途切れることなく管理できるように支援します。		配布数：121冊 配布対象者：さくらんぼ園・小学校・こども療育センター(医師)が必要と判断された方、他希望者。	各関係機関や保護者の方からの意見を反映し、内容を一部修正するなど事業の充実に努めます。	子ども支援課
4	発達支援研修(リーダー・ソーシャルスキルトレーニング研修)	発達障害児支援事業費	<発達支援リーダー研修> 発達障害児支援に関して一貫した技術習得等を図るための研修会を開催し、保育所幼稚園に中心的役割(コーディネーター等)を担う人材を育成します。 中丹東保健所・京都府保育協会・舞鶴市の共催。	7	<発達支援リーダー研修> 参加申込人数：42人(市内枠31人) 市内保育園：民間11人、公立3人 市内幼稚園：私立10人 ※全7回受講した参加者に修了証を発行し、参加費の1/2を補助 ・修了証交付人数：38人(市内22人) (市内内訳：保育園民間11人、公立2人、幼稚園9人) ・参加費の1/2補助の対象園：20園(公立以外)	<発達支援リーダー研修> 幼稚園保育所がより発達障害を理解し、適切な支援が行えるよう、引き続き研修を企画し、スキルアップを図るよう努めます。 保育所幼稚園から小学校への移行が課題と感じている受給者が多数おり、今後も関係機関等との交流会や合同研修、システム構築などを行い、スムーズな移行に努めます。	子ども支援課
			<ソーシャルスキルトレーニング研修> 子どもの社会性を育むために開発されたソーシャルスキルトレーニング技法を各園が学び、実践するために支援します。 中丹東保健所・舞鶴市の共催	88	<ソーシャルスキルトレーニング研修> 実施園：中舞鶴幼稚園(5歳児23名) 園内研修(1回)、プログラム実施・指導(2回)の計3回講師派遣	<ソーシャルスキルトレーニング研修> 各幼稚園の方針や保育との整合性、時間設定の難しさがあるが、発達支援に関わらず保育をしていく上で必要なスキルでもあることから、SSTを実施するスキルを保育者が身につけるよう努めます。	
5	舞鶴子ども発達支援施設 さくらんぼ園の運営の支援	障害児通園事業費補助金	社会福祉協議会に補助金を交付し、舞鶴こども発達支援施設さくらんぼ園が担う障害児通所支援事業を支援します。	21,190	職員：13人 開園日数：11.4人/日 開設日数：226日	舞鶴市社会福祉協議会、舞鶴こども発達支援施設さくらんぼ園と連携し、引き続き障害児通所支援事業に取り組みます。	子ども支援課
6	発達相談	—	1歳半や3歳児健診の受診者のうち精神面で精密検査を要する子どもの発達チェックとそのかわり方についての育児相談を実施します。	—	児童相談所の心理判定員と児童福祉司による発達チェックと相談。 <相談件数>年8回 実22件(延22件)	今後も精神面でフォローが必要な幼児および保護者に対して、適切な助言指導を行います。	健康づくり課
7	子どものほめ方教室	発達障害児支援事業費	子どもとのかかわりや育てにくさを感じている保護者に、子どもをほめて育てる基盤づくりに努めます。	29	5回シリーズで医師による講演とほめ方のロールプレイ等を実施。 <参加者>実8名(延34名)	今後も講演や教室を通し、保護者にかかわり方を学んでもらう機会とし、講演会と教室の位置づけや対象の抽出方法などを検討していきます。	健康づくり課
8	重度心身障害児への医療費助成	重度心身障害児(者)医療助成費	重度心身障害児の健康の保持及び福祉の向上を図ることを目的に、保険診療による自己負担額を助成します。	140,816	平均受給者数：903人 医療給付費：21,565件 139,467,482円 審査支払手数料：20,732件 1,347,580円	事業を安定的に継続実施していきます。	保険医療課

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
9	自立支援医療（育成医療・精神通院）助成	障害者自立支援医療（育成医療）給付費	手術等により障害が改善される見込がある場合、指定の医療機関受診医療費の一部を助成します。	1,166	給付申請件数（決定件数）：33件 支給決定実人員：28人 レセプト件数：（医科）：127件 医療費総額：11,521,030円 医療保険各法負担金（国保）10,098,956円 本人負担額：256,468円 （249,567円+府セーフティー6,901円）	自立支援医療（育成医療・精神通院）助成の適正実施に努めます。	子ども支援課
10	障害児支援利用援助・サービス利用支援	障害児相談支援給付費	相談支援専門員が、児童の成長・発達のために、利用児童や保護者と相談し、ニーズを基に目標を立て、児童通所支援、障害福祉サービス等の利用について計画・相談に応じます。	6,120	相談支援事業所：7事業所 延べ件数：472件	通所支援等の利用にかかる計画立案は進んでいるが、保護者と事業所間の連携にとどまることなく、さらに相談支援専門員も含めた連携ができるよう、各役割について周知に努めます。	子ども支援課
11	児童短期入所（ショートステイ）	障害（児）者短期入所給付費	保護者の疾病などにより一時的に家庭で養育することが困難な障害のある児童を短期間施設等で預かります。	5,040	2事業所（市外1事業所利用） 延べ件数：339件 短期入所給付費：5,039,403円	保護者の方の負担を軽減するため、事業所等と連携し、支援していく。	子ども支援課
12	児童居宅介護（ホームヘルプ）	障害（児）者居宅介護給付費	障害のある児童を対象に、自宅で入浴、排泄、食事などの介助を行います。	3,060	児童は2事業所利用中 延べ件数：527件 成長に伴う保護者の負担を軽減するため、入浴介助の支援をされている 居宅介護給付費：3,059,710円	保護者の方の負担を軽減するため、事業所等と連携し、支援していく。	子ども支援課
13	児童通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービス）	障害児通所給付費	<児童発達支援> 日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練を行う。未就学児対象。 <放課後等デイサービス> 授業終了後または休日に、生活能力の向上のために必要な訓練・社会との交流を行う。就学児対象。	77,515	<児童発達支援> さくらんぼ園他2法人908件 <放課後等デイサービス> こども療育センター他5法人等533件	児童発達支援、放課後等デイサービスともに、実施事業所が不足していることから、受け皿の充足に努めます。（放課後等デイサービスはH29年度に1事業所増の予定）	子ども支援課
14	日中一時支援（日帰り短期入所）	障害（児）者日中一時支援事業費	家庭で監護を行う人がいないなどの理由から、一時的な身守りが必要な障害児を日中に施設等で預かり、活動の場の提供や見守りを行う。	1,784	3事業所に委託 延べ利用者数338人	実施事業所が不足（職員体制の確保困難等）し、利用者が限られており、今後の新規利用希望者への対応ができるよう努めます。	子ども支援課
15	日中一時支援（就学児童等タイムケア事業）	障害（児）者日中一時支援事業費	家庭で監護を行う人がいないなどの理由から、一時的な身守りが必要な障害児を日中に施設等で預かり、長期休み中の活動の場の提供や見守りなどを行う。	13,310	1事業所に委託 延べ利用者数2,147人	現在の実施事業所が新規利用を受け付けない意向であることから、新規利用希望者への対応ができるよう努めます。	子ども支援課
16	小・中学校特別支援学級、舞鶴支援学校等の児童・生徒の交流	心身障害児ふれあいレクリエーション事業費	舞鶴支援学校、各小・中学校支援学級、聾学校に通う児童が一堂に集まりレクリエーションを行ったり、日頃の絵画や作品を展示する作品展を実施し交流するための経費を補助する。	1,100	ふれあいレクリエーション：児童200名参加 作品展：3日間開催	教諭・障害児の相互交流、作品展示など成果発表を通じた地域交流事業などが展開していけるよう連携・支援します。	子ども支援課
17	理解促進研修や啓発事業の実施	舞鶴市障害児育成会等事業費補助金	障害児者育成会が実施する相談事業、交流事業、研修事業を支援し、一人ひとりの自立に向けた運動を補助する。	30	保護者交流会、行事、コンサート等の実施	今後も育成会の活動が継続され、事業が展開していけるよう、連携・支援します。	子ども支援課
18	就労に向けた関係機関とのネットワークづくり	ひとり親家庭自立支援事業費	京都府ひとり親家庭自立支援センター、ハローワーク等と連携し、ひとり親家庭の自立に向けた就労を支援する。	—	就労相談新規受付：33件	京都府ひとり親家庭自立支援センター、ハローワーク等との連携強化を図り、就労支援、生活総合相談など自立支援方策を拡充します。	子ども支援課

19	特別児童扶養手当・障害児福祉手当の支給	児童扶養手当給付費	中程度以上の障害の状態にある児童を鑑護している児童の母又は父などに対して、手当を支給します。	—	<特別児童扶養手当> 176人（支給：京都府） <障害児福祉手当> 615人 8,855,020円		子ども支援課
----	---------------------	-----------	--	---	--	---	--------

〔施策の方向性〕(2)児童虐待防止対策と相談体制の充実

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	子ども総合相談センターと関係機関との連携強化	子ども総合相談センター運営経費	児童虐待ケースや見守りが必要なケースに対応するための地域ネットワーク組織である要保護児童対策地域協議会において、関係機関との間で支援に向けた情報共有と連携を行います。	—	舞鶴市要保護児童対策地域協議会置ける調整機関として各種会議を開催 ○代表者会議…年1回(20関係団体) ○実務者会議…児童虐待部会12回(毎月開催)、要保護部会6回(隔月開催) ○個別ケース会議…48回(随時開催) ※資料2-3あり	相談内容が複雑化しており、関係機関との情報共有と連携がより重要となっています。	子ども支援課
2	要保護児童対策地域協議会	子ども総合相談センター運営経費					
3	児童虐待ケースフォロー会議	子ども総合相談センター運営経費	要保護児童対策地域協議会で進行管理しているケースについて、実務担当者が支援策についての協議を随時行います。	—	年間48回開催	対応困難ケースが増えており、実務担当者の専門性向上と関係機関間の情報共有、連携の重要性が増しています。	子ども支援課
4	児童虐待防止啓発	子ども総合相談センター運営経費	児童虐待を防止するためには、地域全体で子どもを見守ることの重要性を提唱し、児童虐待に対する関心を高める活動を行います。	—	児童相談所全国共通ダイヤル189番の実施に伴い、ホームページへの掲載とチラシの自治会配布や行事での広報グッズの配布	各行事を利用し、広報活動に努めます。	子ども支援課

〔施策の方向性〕(3)ひとり親家庭の自立支援の推進

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	ひとり親家庭の自立支援	母子家庭の自立支援	ひとり親家庭の自立に向け就労に有利な資格を取得するための費用を助成するほか、自立支援員を配置し母子家庭等の相談に応じます。	8,367	自立支援員 1名配置 自立支援教育訓練給付金 1人 高等職業訓練促進給付金 6人	京都府ひとり親家庭自立支援センター等との連携強化を図り、就労支援、生活総合相談など自立支援に努めます。	子ども支援課
2	児童扶養手当の支給	児童扶養手当	父又は母のいない家庭の児童や父又は母が重度の障害の状態にある家庭の児童の健やかな成長を図るため、児童の母又は父などに対して、手当を支給します。	383,865	全部支給 延5,545人 230,953千円 一部支給 延4,365人 127,341千円 2子加算 (@5千円) 延4,270人 計21,350千円 3子加算 (@3千円) 延1,407人 計 4,221千円		子ども支援課
3	ひとり親家庭医療費助成	ひとり親家庭医療助成費	ひとり親家庭の児童とその親の健康の保持及び福祉の向上を図ることを目的に、保険診療による自己負担額を助成します。	69,574	平均受給者数: 2,318人 医療給付費: 25,184件 67,953,773円 審査支払手数料: 24,912件 1,619,280円	事業を安定的に継続実施していきます。	保険医療課
4	母子家庭奨学金の交付	—	父親と生計を同じくしていないか、父親が心身に障害のある18歳未満の児童を養育している母親などに奨学金を支給します。	—	京都府事業		子ども支援課
5	ひとり親家庭の生活支援・相談	ひとり親家庭の生活支援事業費	舞鶴市母子福祉会、京都府ひとり親家庭福祉推進員と連携し、地域での日常の生活相談などを支援します。	370	講座実施回数: 12回 受講者数: 母子89、寡婦25	若い推進員が増加し、多様な生活支援活動等を展開している。今後は、父子家庭の推進員の参画を呼び掛けるなどにより幅広くひとり親への支援ができるよう努めます。	子ども支援課

[重点施策5] 地域における子どもの育ちの支援と安全に安心して子育てができるまちづくりの推進

[施策の方向性] (1)子育て支援サービスの充実

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	地域子育て支援拠点事業	子育て支援基幹センター運営経費	乳幼児をもつ子育て中の親同士の交流や親と子どもの遊びの場を提供し、子育てについての相談や子育てに関する情報の提供、助言など、利用者支援に努めます。	3,818	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載	子ども支援課
		地域子育て支援拠点運営経費	地域を中心とした子育て支援活動を担うとともに、多くの子育て家庭が利用しやすいよう拠点の周知・啓発を強化します。	28,230	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載	
		子育て交流施設管理運営経費	乳幼児をもつ子育て中の親同士の交流や親と子どもの遊びの場を提供し、子育てについての相談や子育てに関する情報の提供に努めます。	18,315	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載	重点施策(1) 施策の方向性(1)に掲載	
2	子育て短期支援事業	子育て短期支援委託事業費(ショートステイ)	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上又は環境上の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合又は経済的な理由により緊急一時的に母子を保護することが必要な場合等に、当該児童等を児童養護施設において一時的に養育し、又は保護を行います。	360	○舞鶴学園 延利用人数31人 延利用日数90日 ○舞鶴双葉寮 延利用人数7人 延利用日数20日	ショートステイについては、緊急的な対応が困難な場合があります。その対応について検討します。	子ども支援課
		子育て短期支援委託事業費(トワイライトステイ)	保護者が仕事その他の理由により平日の夜間又は休日に不在となり家庭において児童を養育することが困難となった場合その他緊急の必要がある場合に、当該児童を児童養護施設において保護し、生活指導、食事の提供等を行います。	1,977	○舞鶴双葉寮 延利用人数446人 延利用日数2650日	平成29年度以降に舞鶴双葉寮の改修工事が予定されており、施設の利用ができなくなるため、その対応について検討します。	
3	ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センター事業費	乳幼児や小学生の子どもへの預かり等の援助サービスを受けたい親(お願い会員)とし、その援助を行う者をまかせて会員として、相互の援助活動に関する連絡調整を行い、子どもの保育所等への送迎や終了後の預かりを実施します。	5,475	会員登録者数 879人 ※内訳:おねがい会員 591人 まかせて会員 229人 両方会員 59人 活動実績 1,261件 利用内容 習い事、幼稚園等の送迎が主	実施内容について評価を行い、更なるサービス向上につながるよう検討を行います。	子ども支援課
4	一時預かり事業(幼稚園の預かり保育を含む)	一時保育事業費補助金	親が就労、病気、冠婚葬祭等で、一時的に育児が困難になった時や、育児ストレスを軽減したい時に、保育所などで乳幼児の預かりを実施します。 また、私立幼稚園で実施している在園児を対象として通常の教育時間以外の日及び時間においての子どもへの預かりを、公立幼稚園においても実施します。	13,680	利用園数及び利用者数 (保育所) 実施園数 公立3 私立12 延べ利用者数 公立454 私立1,822 (幼稚園) 実施園数 公立1 私立12 延べ利用者数 公立1,160 私立53,311	全ての認可保育所で実施し、受入れ定員の拡大を行った園もありますが、全体として必要な保育士確保が課題となっています。	幼稚園・保育所課
5	延長保育事業	延長保育促進事業費補助金	保育所を利用する保育時間認定を受けた子どもを対象に、保護者の希望により利用時間以外の保育を実施します。	5,434	利用園数及び利用者数 (保育所) 実施園数 公立1 私立11 利用者数 公立153 私立449	量の見込みに満たない利用実績であるが、引き続き、提供体制の確保に努めます。	幼稚園・保育所課
6	病児保育事業	病児保育支援事業費	子どもが風邪をひいたり熱を出した時、仕事や急な用事で親が家庭において養育できない場合、病院に付設された専用スペースにおいて看護師、保育士等の専門スタッフが子どもを預かります。	12,273	実施施設数及び延べ利用日数 実施施設数 1 延べ利用日数 908	1日の利用定員が6人であり、冬季など季節によっては予約が集中するところがあるが、ニーズにこたえられないところがあるが、ここ数年の利用傾向から量的には現在の提供体制で対応できています。	幼稚園・保育所課



NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
7	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	放課後児童健全育成事業費	就労等により保護者が日中家にいない児童の適切な遊びの場や生活の場を確保し、児童の健全な育成と保護者の子育てと仕事の両立支援を行います。	82,070	○市内利用児童数 (H27.5.1付) 1年生:253人、2年生:204人 3年生:211人、4年生:42人 5年生:11人 6年生:11人 計732人 ○クラブ数 ①地域による運営 17小学校区24クラブ (大浦小学校を除く) ②社会福祉法人による運営 2クラブ (ふたば、なかすじ保育園) ③夏休み児童クラブ (全市域型) 東地区・旧市民病院、利用者数 37人	年々、利用希望者が増加しており、受入が困難なクラブあるため、今後の利用者見込に応じた施設と支援員確保が課題であります。 ○平成28年度計画 ①中筋小学校に第3クラブの開設 (平成28年7月から) ②旧南乳児保育所を活用した全市域型の児童クラブの開設 (平成28年10月予定) ③大浦地区で夏休み児童クラブを開設 ④東地区、西地区で夏休み児童クラブ (全市域型) を開設	子ども支援課
		放課後児童クラブ整備費	経年劣化した放課後児童クラブ室の改修や市民ニーズに応じた新たなクラブ室の整備を行います。	1,674	志楽小第1クラブ:エアコン取替 志楽小第1クラブ:外壁補修 を実施	改修については、必要に応じ、緊急性のあるものから計画的に実施、新たな整備については、利用希望者の内、市内の低学年児童が全て利用できることを基本的な考え方として、利用者見込みを元にして必要な整備を進めます。	
		放課後児童クラブ利用者負担軽減補助金	放課後児童健全育成事業を利用している者に対し、当該利用者の費用負担の軽減を図るため、補助金を交付しています。	2,227	○生活保護世帯 (全額補助) 3世帯 174千円 ○市民税非課税世帯 (1/2補助) 66世帯 2,053千円		
8	子育てサークルの育成	子育て支援基幹センター 運営経費	子育て中の親が、仲間づくりを行うサークルの組織化とその活動を支援し、親同士の交流や子どもとの関わりなど、子育てを学ぶ機会を創出するとともに親自身の力を引き出す取り組みになるよう努めます。	—	子育てサークルの発足を目的とした行事を開催「ひよこひろば」:6回/年 現在登録:30サークル	組織化と活動場所の提供など、子育てサークルの主体的な活動を支援します。	子ども支援課

〔施策の方向性〕(2)地域での子育て支援のネットワークの充実

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	舞鶴子ども育成支援協会の活動支援	舞鶴子ども育成支援協会補助金	子どもたちが心身ともに健やかに成長することを目指し、市民総ぐるみの子育て支援活動及び健全育成活動を推進する当該協会の運営経費について支援を実施します。	900	○参画団体 40団体 (各小学校区地域子育て支援協議会、自治連・区長連他) ○事業内容 ①少年の主張大会の開催 250名参加 ②子ども文化劇場 1300名参加 ③「地域で子育て支援」街頭啓発活動 11月に東・西地区で実施 ④子育て講演会 170名参加 ⑤「子育て」広報紙の発行 7000部	これまでの実施事業の評価を行い、子育て支援活動の活性化を図るむとともに、地域の子育て力の向上につながる活動に対して継続して支援します。	子ども支援課
2	地域子育て支援協議会の活動支援	地域子育て支援推進事業費補助金	子どもの健全育成を図るため、各地域において実施される子育て支援事業に要する運営経費について支援を実施します。	2,730	○補助対象団体 各小学校区地域子育て協議会 18団体 ○主な事業内容 児童の登下校時の見守り活動、花いっぱい運動、昔あそび、親子交流行事等		子ども支援課
3	各種団体やNPOの支援	—	子どもや子育て支援にかかわるNPOや各種市民団体の育成やその活動を支援します。	—	子どもや子育て支援にかかわる市民団体等が実施する行事の後援を行い、広報支援を実施	自主的に行事等を実施する市民団体等の広報支援等を継続して行い、地域ぐるみの子育て支援活動の活発化につなげます。	子ども支援課



【施策の方向性】(3)青少年健全育成の取り組みの推進

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	少年補導委員非行防止活動	少年補導センター運営費、少年補導委員活動費	子どもの好ましくない行動の早期発見と問題行動の習慣化、拡大化を未然に防止するため、少年補導委員による子どもへの声かけを中心とした街頭補導活動を実施しています。	補導センター運営費 2,516 補導委員活動費 5,966	○少年補導委員 95人(民間69、学校26) ○中学校区単位に校区補導委員会を設け、大規模校区は5班、小規模校区は1～2班の補導班を編成して活動 ○出勤回数 延521回 ○出勤人員 延1,826人 ○声かけ状況 帰宅指導や交通違反等	小・中・高等学校、PTAや地域と更に交流・連携を図り、地域の子どもの健全育成に努めます。	子ども支援課
2	青少年問題協議会	青少年問題協議会運営費	青少年問題に関する総合的施策の樹立に係る必要事項の調査審議、総合的施策の適切な実施をするために必要な関係行政機関相互の連絡調整を行うため、関係機関による協議会を設置しています。	90	○委員数 19人 ○開催回数 1回 ○内容 ①青少年健全育成の取組み状況 ②中学校の現状、青少年非行の現状 ③環境浄化活動について	平成28年度より、子ども・若者支援会議に統合し、青少年健全育成部会を設置して、これまでの所掌事項を担います。	子ども支援課
3	青少年善行表彰	青少年善行表彰経費	子どもが心身ともに健やかに成長することを願い、社会生活・教育・文化等の面で顕著な善行があったと認められる個人、団体を表彰します。	117	表彰件数 団体2件 ①青葉中生徒会 内容：環境美化・除雪・高齢者交流活動 ②紫陽花隊(城南中生徒会・運動部他) 内容：非行防止・環境美化・交通安全活動	平成28年度より、善行表彰基金の用途拡大を行い、子ども・若者の健全な成長を支援する事業を実施する民間団体等に対して、その活動費を補助します。	子ども支援課
4	有害環境浄化対策	少年補導センター運営費、少年補導委員活動費	社会環境浄化推進員や少年補導委員により、書店、レンタルビデオ店、携帯電話取扱店等への立入調査の実施、コンビニや個人タバコ店等に対して未成年喫煙防止の啓発を行う等、有害環境から子どもを守るための取組みを行います。	補導センター運営費 2,516 補導委員活動費 5,966	少年補導委員が自主的に組織する少年補導委員連絡協議会の活動で、6月から8月には、お酒・たばこ販売店へ、9月から12月には有害図書関係事業所に販売等の禁止チラシの配布と声かけを実施	京都府等関係機関と連携し、継続実施していきます。	子ども支援課

【施策の方向性】(4)子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	子どもの見守り隊への支援	子育て支援一般事務経費	通学路における犯罪や事故を未然に防止するため、地域、学校、警察、保護者等が協力して取組む子ども見守り隊の活動を支援します。	413	○見守りグッズの配布 パトロールキャップ(オレンジ) 400個 ○各小学校区地域子育て支援協議会 18団体	継続して計画的に実施します。	子ども支援課
2	まいづるメール配信サービスによる不審者情報の発信	—	不審者情報や子どもの安全に関する情報を保護者や地域の皆さんにメールで配信します。	622	不審者情報の発信 28件 ・声かけ 12件 ・後追い 5件 ・不審な行動 5件 ・撮影 3件 ・露出 2件 ・つきまとい 1件		学校教育課
3	青色回転灯搭載公用車の巡回活動・地域子育て支援協議会への設置促進	—	地域における防犯体制を強化するため、視覚的効果の高い青色回転灯を装備した公用車による防犯パトロールを実施します。	—	パトロール：6回/年	継続して計画的に実施します。	市民課
		地域子育て支援推進事業費補助金	地域における防犯体制を強化するため、地域子育て支援協議会が行う自主的な防犯パトロールを促進するため、車載型青色回転灯の整備を支援します。	—	実績なし ※支援内容 青色回転灯の設置には、警察の許可及び自動車の車検証の書き換えが必要になるため、その経費を補助(20千円/台)		子ども支援課

〔施策の方向性〕(5)ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発	事業所啓発事業	市民や事業所に対して、セミナーの実施やリーフレットの作成・配布等により、ワーク・ライフ・バランスについての啓発を行います。	131	ワーク・ライフ・バランスを組織運営企業体制に反映するための事業所支援セミナー「イクボスのすすめ」を実施した。事業所リーフレット10「イクボスのすすめ」を作成して、ワーク・ライフ・バランスの啓発を行った。	H27事業所アンケート調査によると「ワーク・ライフ・バランスについて言葉も内容も知っている」という事業所の割合が38.5%であり、H23年度調査19.6%からは大きく増加したが、さらに周知に努める。	人権啓発推進室啓発推進課
2	性別にとらわれない子育て等に関する意識の普及・啓発	①女性チャレンジ推進事業費 ②男女共同参画計画啓発事業費 ③情報誌発行事業費	男女共同参画社会の実現に向け、セミナーの実施や情報誌の作成・配布等により、男女共同参画の意識づくりについての啓発を行います。	727	①女性たちが本来持っている可能性を引き出し、チャレンジできるよう支援するチャレンジ支援セミナー(全2回)を実施した。 ②男女共同参画についての意識啓発を図る男女共同参画講演会「男女共同参画社会実現の先に」を実施した。 ③男女共同参画推進に関する情報等を身近なこととして理解を深めてもらうため、舞鶴市男女共同参画情報誌「かがやき」を発行・配布した。	固定的な役割分担意識の見直しや男女それぞれの課題に応じた意識啓発を、各種講座や男女共同参画情報誌「かがやき」などで行う。	人権啓発推進室啓発推進課

〔施策の方向性〕(6)安心して外出できる環境の整備

NO.	事業名	予算事業名	事業概要	H27決算額 (単位:千円)	H27事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	人にやさしい道づくりの推進	交通安全推進事業費	子供、高齢者などの交通弱者や自転車が安全で安心して通行できる道路整備を進め、快適で安心・安全なまちづくりを推進します。	65,561	○歩道の整備 ・女布七日市線、上安倉谷線、吉井線 ○ガードレール、区画線、道路照明や交通安全灯などを設置 ・市内全域	国の交付金の配分等財源の確保が課題	土木課
2	公共的施設のユニバーサルデザインに配慮した整備の推進	庁舎改修事業 (窓口業務職場再配置改修工事)	市民が利用しやすく、市民にわかりやすい市役所づくりに向けて、窓口業務を持つ職場の再配置や総合案内所の設置などの環境整備を行い、市民の利便性の向上を図ります。	28,577 (庁舎改修) 392 (サイン改修)	市民ホール中央階段の撤去 総合案内所の設置 庁舎内サインの改修 ローカウンターの増設 等		資産活用課
3	公共交通機関のユニバーサルデザインに配慮した整備の促進	—	路線バスにおけるノンステップバスや低床化バスの導入など、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備を促進します。	—	京都交通 市内路線バス ノンステップバス及び低床化バス 導入車両数 9台 乗車人員が多い「東西循環線」等に優先して配車されている。	交通事業者と連携し、ノンステップバスや低床化バスの導入の促進等、利用しやすい公共交通の環境整備に取り組んでいきます。	企画政策課
4	交通安全運動の推進	—	教育機関等と連携した自主的、効果的な交通安全教育及び交通事故防止のための活動を促進します。また、各機会や媒体を利用した交通安全に関する広報活動の推進、全国及び府域一斉に取り組む交通安全運動を実施します。	—	・全国交通安全運動(春・秋) ・交通事故防止府民運動(夏・年末) ・府域一斉街頭啓発(4回) ・市内小学校、幼稚園での交通安全教室 ・市内高等学校での自転車安全利用講習	今後も、警察署、関係機関、ボランティア団体等と連携した取組を推進します。	市民課
5	子育て応援情報・子育てマップの提供	子育て支援基幹センター運営経費	遊び場、幼稚園・保育所(園)、病院、公園等のマップや様々な子ども・子育て支援サービス情報をまとめた「子育て応援ブック」を作成し、関係機関に配布するとともにホームページ等のメディアを活用してわかりやすい情報提供に努めます。	3,818	・子育て応援ブックの発行 ・子育て応援ネットまいたんの発信	3歳未満の乳幼児をお持ちの転入者やこんにちは赤ちゃん事業での配布するとともに、妊娠期から子育ての情報を知ることは安心につながるので、育児準備教室などの機会を利用して配布や産婦人科に設置するなど、情報提供に努めます。	子ども支援課